取扱説明書

XRS Stick Reader（スティックリーダー）

こちらは XRS Stick Reader（スティックリーダー）の設定と使用方法の詳細を案内する取扱説明書です。さらに詳しい情報は www.tru-test.com をご覧ください。

注意：本書では次の略号を使用してます。EID = 電子タグ VID =視覚識別番号

内容

ご利用前に 2
各部名称 3
LED 3
液晶画面の表示 3
スイッチをオンにする 3
EID をスキャン 3
スイッチをオフにする 3
相互参照用にファイル転送する 4
スティックリーダーの設定を変更 4
その他の設定メニュー 4
スキャン時にカスタムフィールドの情報を追加 4
スキャン時にアラートを受ける 4
スティックリーダーの設定メニュー 5
バッテリー充電のオプション 6
バッテリーの交換 7
EziLink を使って相互参照用のファイルをスティックリーダーに転送する 7
EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送する 8
EziLink を使ってフォーマットを変更する 8
EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する 9
EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送する 10
EziLink を使ってすべてのセッションを消去する 11
EziLink を使ってすべてのアラートを消去する 12
EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去する 12
EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去する方法： 12
スティックリーダーのファームウェアを更新する 12
EziLink を使った XRS の設定 13
トラブルシューティング 17
本器の取扱いについて 20
サービスと保証内容 20
仕様 20

© 2011-2012 Tru-Test Limited

本書に記載の製品名およびブランド名はすべて所有各社の商標もしくは登録商標です。

本書のいかなる部分も Tru-Test 社の許諾を得ることなく、情報検索システム内に複写、複製、保存してはならず、またいかなる方法、もしくは電子的、機械的、複写、記録媒体などいかなる手段によっても送信・伝達してはなりません。事前の通告なしに製品の仕様は変ることがあります。

より詳しい情報や Tru-Test グループの高品質な各種製品やブランドについては www.tru-test.com をご参照ください。

住所：Tru-Test Limited
25 Carbine Road
Mt Wellington
Auckland 1060
New Zealand

郵送先住所：
P O Box 51078
Pakuranga
Manukau 2140
New Zealand

Bluetooth®の英名称とロゴは Bluetooth SIG 社所有の登録商標です。Tru-Test 社は許可を得て、これらを使用しています。

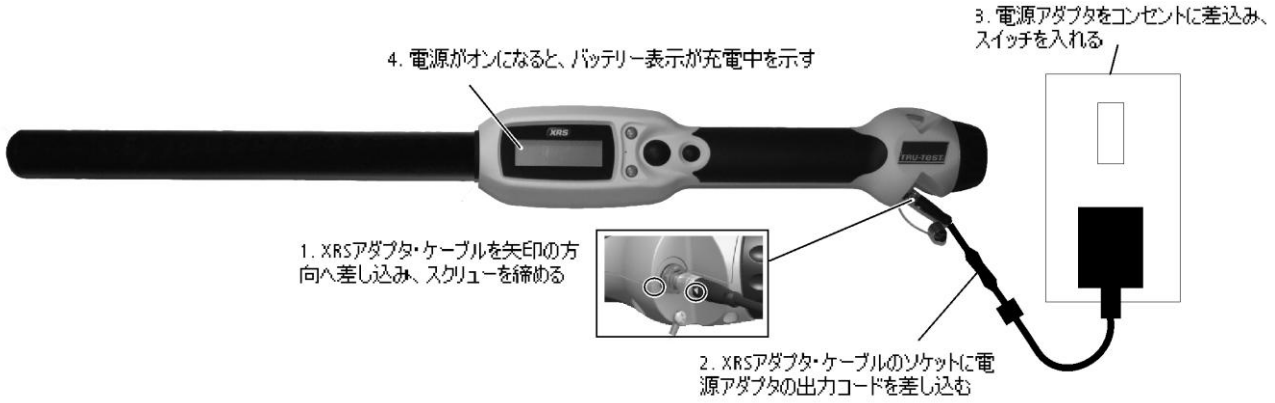
第 1 版 11/2012

ご利用前に

内蔵バッテリーの充電

*注意:*本器使用前に内蔵バッテリーを必ず満充電にしてください。

バッテリーの充電は気温 5 度から 40 度の間で行ってください。満充電にはおよそ 3 時間かかります。満充電で約 19 時間使用できます。



本器は充電しながらでも使用できます。

その他のバッテリー充電方法については、6 ページの「バッテリー充電のオプション」を参照してください。

その他機器類への接続

その他機器類への接続方法についての情報は、付属の CD にある技術仕様書"*XRS Connections*"の内容、もしくはウェブサイト www.tru-test.com を参照してください。

PC へは XRS シリアルケーブルと USB シリアルアダプターを使って接続できます(下記の写真参照)。

3000 シリーズの重量測定器へは、XRS シリアルケーブルもしくはワイヤレスの *Bluetooth*® を使って接続できます。*Bluetooth*®に接続する際は自動的に相手先を探し、XR3000 測定器に接続します。この場合、接続には数分を要することがあります。

EziLink™ の使用

EziLink ソフトウェアは付属の CD からインストールできます。EziLink を使ってスティックリーダーから PC へ情報を転送できます。スティックリーダーの設定は機器内でもできますが、一部の設定は EziLink を使わなければなりません。

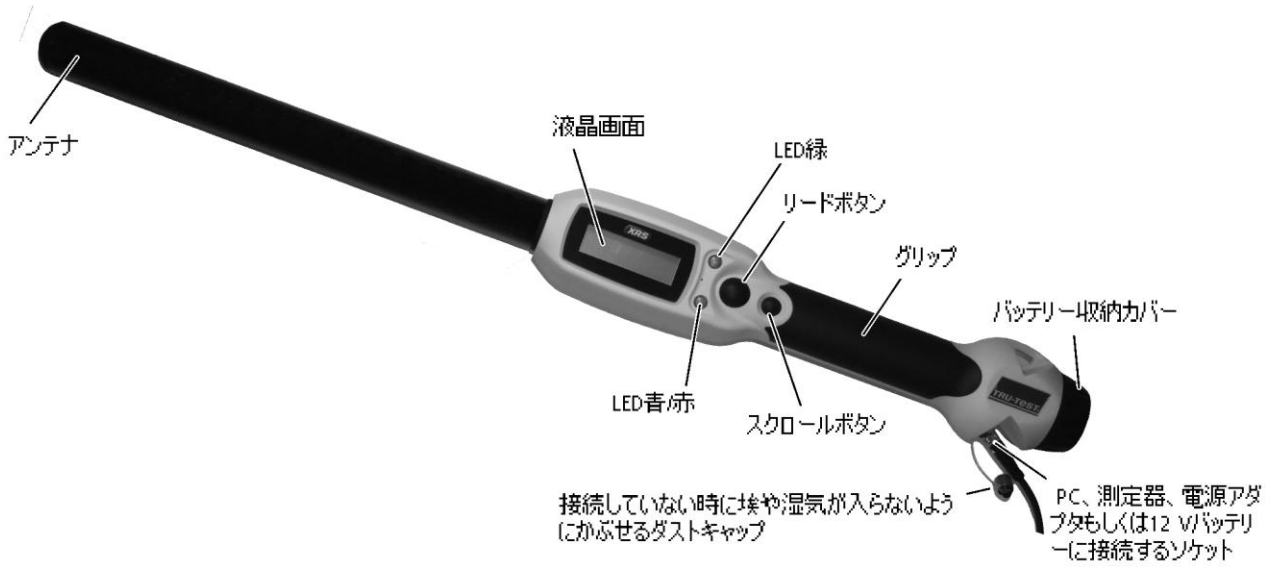
EziLink の使用方法:

1 EziLink ソフトウェアを PC にインストール(EziLink の CD にある情報を参照)。
2 PC の USB ポートに XRS シリアルケーブルと USB シリアルアダプタを使ってスティックリーダーを接続(写真参照)。
3 スティックリーダーのスイッチをオン。
4 立ち上げにはデスクトップにある EziLink のアイコンをダブルクリック。

接続すると EziLink の画面の右上に XRS のアイコンが表示され、画面下に接続の詳細が表示されます。

注意:
- スティックリーダーは EziLink 起動前にスイッチをオンにしないと接続しません。
- 問題が起こった場合は EziLink の CD にあるトラブルシューティングの対策を参照してください。

各部名称

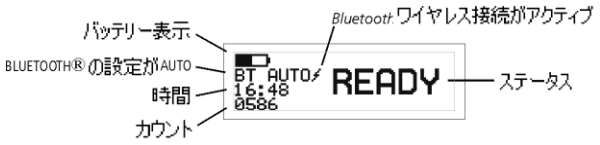


LED

本器には緑と、状態により青か赤になる 2 つの LED があります。以下のとおりに点灯します:

赤が点滅	スキャンの途中もしくは EID を読み込んでいる
緑が点灯	EID の読み込み完了
青/赤の LED で赤が点滅せず青が点灯	*Bluetooth* が相手先を探して接続

液晶画面の表示



バッテリー表示	充電量を表示
BLUETOOTH® の設定が AUTO	*Bluetooth* の設定が自動的に相手先を探す。設定の変更は 4 ページの「設定の変更」を参照
Bluetooth ワイヤレス接続がアクティブ	*Bluetooth* が機器に接続
時間	現在の時刻を表示。タグをスキャンする際にこの日時が記録される。EziLink を使って日時を変更可。15 ページの「Date Time(日時)のタブ 」を参照
カウント	現行セッションでスキャンしている家畜の数
ステータス	メッセージを表示

スイッチをオンにする

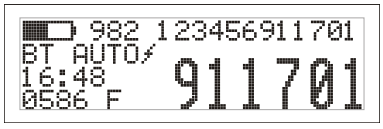
リードボタンを押す。

音が鳴り ♫、「READY」が表示される:

EID をスキャン

アンテナをタグの近くに持っていき、リードボタンを押してから放す。

液晶画面にタグの番号が表示され、緑の LED が一度点滅。グリップが振動し、音が鳴る♫と読み込み完了。



*ヒント:*家畜が移動中の場合はリードボタンを押し続けておくことができます。リードボタンを放すとスキャンが停止します。[1]

スイッチをオフにする

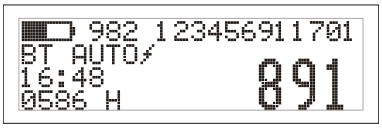
スクロールボタンを押し続ける。

液晶画面に 3, 2, 1 とカウントダウンが表示され、音が鳴り♫オフになる。

[1] 読み込み時に初期設定が「スタンダード」に設定されている場合。

相互参照用にファイル転送する

EID とそれに対応する VID のデータを含むファイルは、EziLink を使ってスキャン開始前にスティックリーダーにデータ転送できます。相互参照用にファイルを事前に転送しておけば、スキャン時に VID は大きな字で液晶画面に表示されます。EID はそのすぐ上に小さい字で表示されます。



相互参照用ファイルの転送に関する情報は 7 ページの「EziLink を使って相互参照用のファイルをスティックリーダーに転送」を参照してください。

スティックリーダーの設定を変更

設定画面にするには、リードボタンとスクロールボタンを同時に押す。

EXIT の下に 3 つの設定メニューが表示される。

メニューを選ぶには、スクロールボタンを繰り返し押す。

選ぶメニューがハイライトされたら、リードボタンを押す。

設定メニューの画面から出るには、EXIT がハイライトされるまでスクロールボタンを押し、リードボタンを押す。

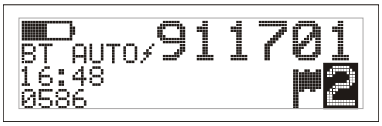
設定メニューの説明は次のページを参照してください。

その他の設定メニュー

スティックリーダーの画面上でできるもの以外は EziLink ソフトウェアを使って設定変更ができます。Automatic Power Down（自動電源オフ）、音や振動のオン/オフ、日時の設定などがあります。詳細は 13 ページの「EziLink を使った XRS の設定 」を参照してください。

スキャン時にカスタムフィールドの情報を追加

カスタムフィールドの設定をオンにしておけば、スキャン時に各家畜の情報を追加することができます。スティックリーダーにはカスタムフィールドをフラッグ（オプションはブランクか、数字の 1 から 5）で示すようあらかじめ設定されています。カスタムフィールドは EziLink を使って希望のとおりに変更ができます。（詳細は 9 ページの「EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する」を参照してください）。



1 前述のように EID をスキャン。

2 スクロールボタンを押し、オプションを見る。

3 希望するオプションが表示されたら、そのまま次のスキャンに移る。

次の動作に移ることで、表示されていたオプションの情報が自動的に上書きして保存される。

注意: カスタムフィールドの情報は、次の動作に移らなくても、ディスプレイの時間が切れたり、READY の表示画面に戻ったり、電源が切れた場合でも、自動的に保存されます。

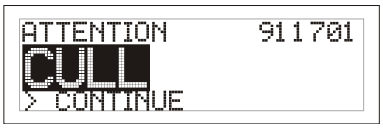
スキャン時にアラートを受ける

アラートの設定をオンにしておくと、家畜を特定したい場合、該当のタグが読み込まれたときにアラートを受けられます。

EID とアラートのメッセージを含むファイルをスキャン前に EziLink を使ってスティックリーダーに転送できます。

1 前述のように EID をスキャン。

該当の EID にアラートの指示がなされていると、音が鳴り、グリップが振動し、画面にメッセージが表示される。



2 スクロールボタンを押し「**Continue**」を選び、リードボタンを押す。それにより、アラートが認識されたとみなされ、スキャンが続行できるようになる。

アラートのファイル転送についての詳細は 10 ページの「EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送する 」を参照してください。

スティックリーダーの設定メニュー

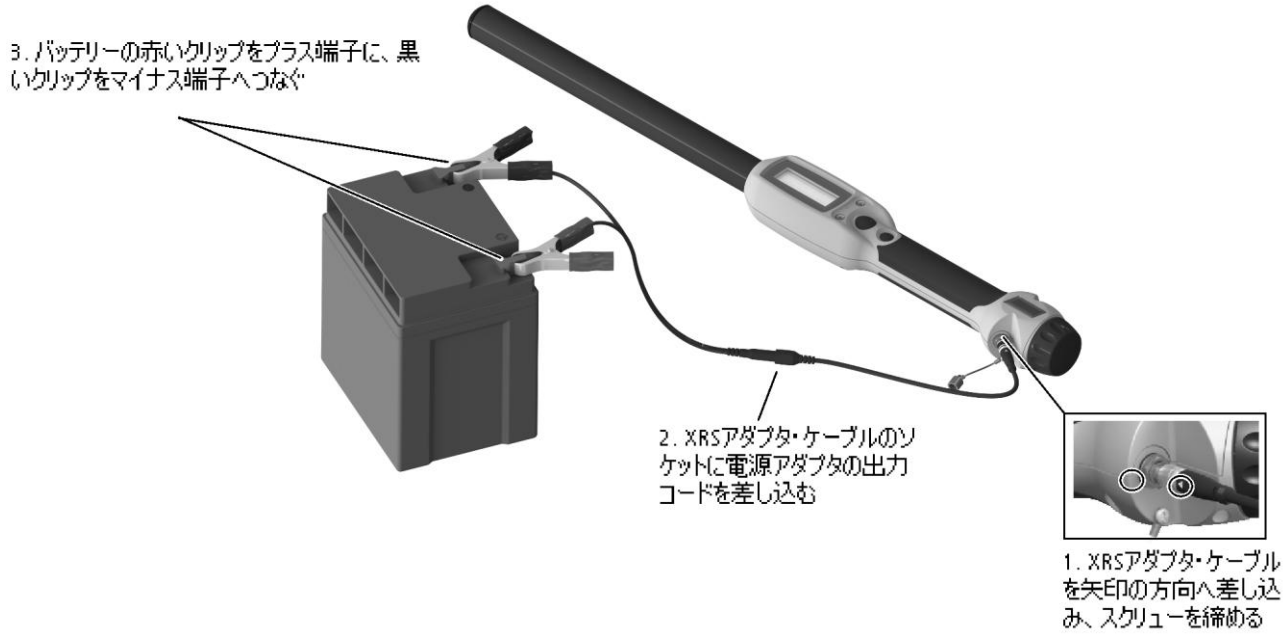
メニュー	オプション [1]	説明
START NEW SESSION （新しいセッションを開始）		記録されたすべてのタグはセッションのファイルに保存されています。セッションのファイルは 50 まで作成できます。読み取りが終了したセッションは EziLink を使って PC へ転送できます（8 ページの「EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送する」を参照）。 リードボタンを押すと新しいセッションのスキャンを開始します。
CUSTOM FIELD （カスタムフィールド）	OFF* ON	セッションの間に家畜のコンディションなどのデータを入力したい場合、カスタムフィールドの設定をオンにします。タイトルとオプションは EziLink で設定し、スティックリーダーへ転送します（9 ページの「EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する 」を参照）。
ALERTS （アラート）	OFF* ON	家畜を特定したい場合、該当のタグが読み込まれたときにアラートが受けられるよう設定をオンにします。例えば、保留期間中の家畜を知らせるようアラートをセットしたい場合などです。アラートは EziLink で設定し、スティックリーダーへ転送します（10 ページの「 EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送する」を参照）。
BLUETOOTH®	AUTO* OFF MANUAL	*Bluetooth*® ワイヤレス接続によって、スティックリーダーから XR3000 やコンピューターなど別の機器へ情報を転送できます。 Auto（自動） - *Bluetooth* が Auto にセットされている場合、スティックリーダーは自動的に直近で使用された *Bluetooth* 搭載機器に接続します。該当の機器がみつからない場合は、以前使用された機器の中から接続するものを選ぼうとします。その中からもみつからない場合は、XR3000 の測定器を探して接続し、接続したことのある機器として記憶します。それでもうまくいかない場合は、スティックリーダーは *Bluetooth* 搭載機器から入ってくる接続を許可します。いつでも Auto を無効にして、手動で機器を探すか（ 下記 FIND BT DEVICES を参照）、もしくは以前接続した機器のリストから選ぶことができます（下記 PAIRED DEVICES を参照）。スティックリーダーにいつも同じ *Bluetooth* 搭載機器を使用する場合は Auto の設定が理想的です。 Off（オフ）- スティックリーダーが自動的に *Bluetooth* 搭載機器に接続したり、探したりするのを避けたい場合は、機能をオフにすることができます。この機能をオフにするとバッテリーの節約になります。 Manual（マニュアル）- Manual にセットすると、スティックリーダーは *Bluetooth* 搭載機器から入ってくる接続を許可します。または手動で機器を探すか（下記 FIND BT DEVICES を参照）、もしくは以前接続した機器のリストから選ぶことができます（下記 PAIRED DEVICES を参照）。
FIND BT DEVICES （*Bluetooth* 搭載機器を探す）		Auto もしくは Manual にセットされている場合、手動で *Bluetooth* 搭載機器を探し、特定の機器に接続するか、もしくは既存の接続を断ち別の機器に接続させることができます。 範囲内にある機器を探すには、まずリードボタンを押してください。 数分後、スティックリーダーは範囲内にある *Bluetooth* 搭載機器のリストを画面に表示します。 接続するには、リストから該当する機器を選び、リードボタンを押します。 該当の機器は接続したことのある機器のリストに追加されます（下記 PAIRED DEVICES を参照）。
PAIRED DEVICES （接続したことのある機器）		Auto もしくは Manual にセットされている場合、手動で以前接続していた機器に接続させるか、もしくは既存の接続を断ち別の機器に接続させることができます。 接続したことのある機器の中から選んで接続するほうが「FIND BT DEVICES」のオプションを使うよりも素早く接続できます。 リードボタンを押し、接続したことのある機器を表示します。該当の機器を選び、リードボタンを押すと、スティックリーダーは接続したことのある機器へ接続しようとします。
DUPLICATES （重複）	ON* OFF	Duplicates がオンになっていると、スティックリーダーは同じセッションの中で同じ EID を二度記録しません。スティックリーダーは過去 500 のタグを記憶します。
FLIP SCREEN （スクリーンを回転）	OFF* ON	液晶画面を左利き用に回転させることができます。オンにすると画面は右利き用には逆さまになります。
CONTRAST （照度）		画面照度の明暗を調整できます。リードボタンを繰り返し押すと調整できます。
READ MODE （リードモード）	STANDARD* （スタンダード） CONTINUOUS （コンティニュアス＝継続） SINGLE （シングル）	STANDARD にセットすると、スティックリーダーはリードボタンが押されるとスキャンを開始します。タグが読み込まれれば瞬時ですが、初期設定では 3 秒間スキャンをします。リードボタンを押し続けるとスキャンは継続し、複数のタグをスキャンします。STANDARD は一般の使用に適しています。読み込みの所要時間は EziLink で設定できます。詳細は 13 ページの「EziLink を使った XRS の設定（Reading Tags tab）」を参照してください。 CONTINUOUS（継続）にセットすると、リードボタンが押されるとスキャンを開始し、再びリードボタンが押されるまでストップしません。この設定は囲いにいる家畜や移動させている家畜をスキャンするのに適しています。 シングルにセットすると、スタンダードと同じように機能しますが、リードボタンを押し続けても、1 つのタグを読み込んだ後はスキャンを継続しません。次のタグをスキャンするには、リードボタンを一度放し、再度押さなければなりません。
SOFTWARE VERSION （ソフトウェア）		スティックリーダーのソフトウェアのバージョンを表示します。
ENGLISH* （英語）	ESPAÑOL PORTUGUÊS FRANÇAIS DEUTSCH ITALIANO DANSK SVENSKA	液晶画面の言語を変更できます。 リードボタンを繰り返し押してください。 *Bluetooth* でスティックリーダーが XR3000 測定器に接続される場合は、自動的に測定器の言語になります。

[1] 初期設定には *マーク

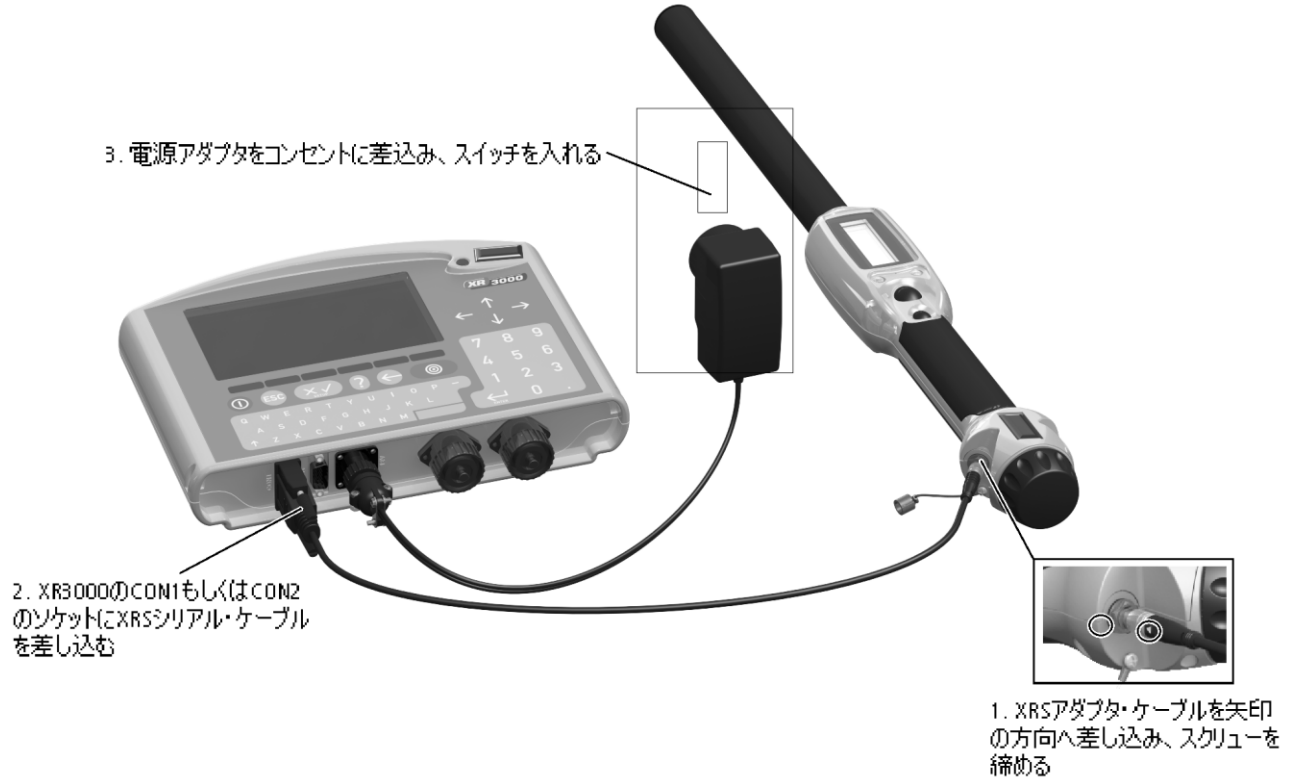
バッテリー充電のオプション

スティックリーダーの内蔵バッテリーは XRS アダプターケーブルを電源につないで充電します（2 ページの「内蔵バッテリーの充電を参照）が、他の方法もあります。

内蔵バッテリーは、バッテリーリードをつなぎ車両用の 12 V バッテリーを使って充電ができます。



スティックリーダーは XRS シリアルケーブルを使って 3000 シリーズの重量測定器に接続することもできます。測定器が 12 V バッテリーとつながっているか、もしくは電源とつながっている場合、スティックリーダーの内蔵バッテリーは測定器の接続を通じて充電されます。



スティックリーダーのバッテリーが空になっても充電中なら使用できます。充電中に使用する場合、内蔵バッテリーはスティックリーダーのコンパートメントの中に納まっていなければならず、電源、12 V バッテリーもしくは前述のように 3000 シリーズの測定器につながっていなければなりません。

注意！ スティックリーダーの接続には同梱のアダプターやケーブル、もしくは別売りの正規品を必ずご使用ください。

バッテリーの交換

予備のバッテリーは付属品として購入できます（Tru-Test のパーツ番号 813295）。スティックリーダーの端にあるコンパートメントのカバーをはずしてバッテリーを交換します（3 ページの「各部名称」 を参照）。注意深くバッテリーをずらしながら外し、予備を入れます。水分やほこりがコンパートメントに入らないように注意し、バッテリーが常に清潔で乾いた状態であるようにしてください。

EziLink を使って相互参照用のファイルをスティックリーダーに転送する

EID とそれに対応する VID のデータを含むファイルは、EziLink を使ってスキャン開始前にスティックリーダーにデータ転送できます。EID/VID の一組で 20,000 まで転送できます。相互参照用のファイルは下記のフォーマットで作成されなければなりません。

- ファイルは拡張子が.csv もしくは.xls のフォーマットでなければなりません。フィールドが コンマで区切られている限り、拡張子が.txt のファイルも利用できます（拡張子.csv のファイルでは必須）。
- ファイルにはひとつの列に VID、もうひとつには EID のデータと、これら 2 列のデータだけが含まれていなければなりません。
- VID は最初の列に、EID は 2 列目に入れるか、もしくは逆に挿入も可能。
- ヘッダーの行はオプションとして挿入可能。
- ファイルにはアルファベットと数字のみを挿入。] ( ) { }, ; ` ~ ^ \ #などは挿入しない。
- VID が 7 文字かそれ以上なら、数字のみの下何桁かだけを使用することができます。例えば相互参照用の VID が XBX00047 がなら下五桁の 00047 だけをデータとして転送します。これにより、大量のタグデータをファイルすることができるようになります。6 文字以下なら、全桁を転送してください。例えば、相互参照用の VID が VID001 ならそのままを転送します。
- EID のフォーマットがスティックリーダー内で設定されるかどうかに関わらず、VID-EID 一組のファイルで使われる EID のフォーマットは前述の 3 つのフォーマットで作成できます。

相互参照用ファイルの例：

	A	B
1	123	982 000000123456
2	456	982 000000987654
3	345	982 000000123457
4		

VIDが1列目、EIDが2列目、ヘッダー無し。

	A	B
1	**EID**	**VID**
2	982 000000123456	123
3	982 000000987654	456
4	982 000000123457	345
5		

EID が 1 列目、VID が 2 列目、1 行目にヘッダーあり。

EziLink を使ってスティックリーダーへ相互参照用ファイルを転送する方法：

1 をクリック。
「Load VID-EID Pairs File（VID-EID 一組のファイルを読み込み）」 が表示される。

2 転送したいファイルを探し、選んでクリック。

3 **Open** をクリック。
EID とそれに対応する VID がスティックリーダーに転送され、確認のメッセージが表示される。

4 **OK** をクリック。

注意： スティックリーダーの中に EID-VID 一組のデータが存在する場合に、相互参照用ファイルの転送を試みると、既存のデータと新しいデータをひとつにまとめたいかどうかを問われます。**Merge**（まとめる）を選ぶと、新しい一組は古い一組とまとめられ、新規の一組はそのまま転送されます。**Don't Merge**（まとめない）を選ぶと、古い一組は消去され、新しい一組が転送されます。

スキャン時の相互参照用ファイルの使用について詳しい情報は 4 ページの「相互参照用にファイル転送する 」を参照してください。

スティックリーダーから VID-EID 一組のデータを消去する方法は、12 ページの「EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去する」を参照してください。

EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送する

EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送できます。

スティックリーダーが PC につながっていると、EziLink の画面ではスティックリーダーに保存されているスキャンしたセッションのリストが表示されます。EziLink を使って、ひとつひとつもしくはすべて一括で、同時にデータの転送ができます。

データは拡張子.csv もしくは.xls のフォーマットで保存できます。拡張子.csv のファイルなら NLIS（オーストラリアのみ）に適していますが、これは EziLink で初期設定が NLIS に設定されている場合に限ります。ファイルフォーマットの初期設定の変更については下記「*EziLink* を使ってファイルフォーマットを変更する」を参照してください。

EziLink を使ってスティックリーダーからひとつのセッションのスキャンデータを転送する方法：

1 左側のパネルから希望のセッションをクリック。

2 をクリック。
EziLink で NLIS のフォーマットを選択したら、「NLIS」が表示される。必要な項目を入力し **OK** をクリック。
すべてのフォーマットでは「Save」が表示される。

3 ファイル名を入力するか、自動的に設定されるファイル名を承認し、保存先を選ぶ。

4 **Save** をクリック。セッションは転送され、確認のメッセージが表示される。

5 **OK** をクリック。

EziLink を使ってスティックリーダーからすべてのセッションのスキャンデータを転送する方法：

1 をクリック。
「Browse for folder（フォルダーを探す）」が表示される。

2 保存先を選んで **OK** をクリック。
自動的に設定されるファイル名「XRS_Session x on yyyy-mm-dd」(x はスティックリーダー内のセッション番号、スキャンが最初に記録された日付 y が年、m が月、d が日で表示）で転送される。確認のメッセージが表示される。

3 **OK** をクリック。
スティックリーダー内にあるすべてのセッションや記録したデータを削除するかどうか、注意のメッセージが表示される。

4 削除するなら **Continue** をクリック、データをそのまま手付かずの状態で残すなら **Cancel** をクリック。

5 **OK** をクリック。

注意： EziLink のオプションで NLIS のフォーマットが初期設定で選択されている場合、セクションは一度にひとつしか転送できません。

EziLink を使ってフォーマットを変更する

EziLink を使ってスティックリーダーから転送されたセッションデータは、以下のいずれかのフォーマットで保存できます。

.xls	マイクロソフトのエクセルを使いファイルを開いたり、操作ができる。
.csv	コンマで区切って並べるフォーマット。汎用性が高く第三者に転送する際によく使われる。エクセルが入っている場合、拡張子.csv のファイルは自動的にエクセルで開くが、EID の番号と番号の間にスペースがなくなることがあるので、エクセルフォーマットを使用することが望ましい。拡張子.csv の内容はウインドウズの「Open With」の機能を使って Notepad で開くことができる。
NLIS (.csv)	the NLIS データベースにアップロードするのに適した拡張子.csv のファイル（オーストラリアのみ）。

ここで述べるフォーマットの変更とは、転送の段階で無効にしない限り、すべてのセッションがそのフォーマットで保存されることを意味します。詳細は前述の EziLink を 参照してください。

EziLink を使ってフォーマットを変更する方法：

1 をクリック。
「Options」が表示される。

2 ファイルフォーマットのタブで、希望のオプションをクリック。

EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する

EziLink ではカスタムフィールドを設定できます。スキャンごとに情報を記録するのに使用できます。

例えば、スキャン時に家畜の種類や治療の情報などを記録したいときに、自在に設定できます。

始める前に、スティックリーダー内にいかなるセッションデータも残っていないようにしなければなりません。すべてのセッションデータは PC に転送し(8 ページの「EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送する」を参照)、スティックリーダーからセッションデータを消去してください(11 ページ「EziLink を使ってすべてのセッションを消去する」を使ってすべてのセッションを消去する」を参照)。

10 までオプションを作成できます。各オプションの名前は 6 桁もしくは 6 文字まで入力できます。タイトルを入れるスペースは、オプションの名前の長さによります。

EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する方法:

1 をクリック。
2 **Custom Field**(カスタムフィールド)のタブをクリック。
3 **Custom Field** を Enable(オン)にする。
4 **Clear All** (すべて消去)をクリックし、カスタムフィールドにある既存のセッティングを消去する。
5 **Label** (タイトル)の項目にタイトル名を入力するか、フラッグの表示だけを使用する場合は#を入力する。
6 スキャン時に選択するオプション名を入力する。
7 **Save** をクリック。
カスタムフィールドの情報がスティックリーダーに送信される。

注意: タイトルとオプションが変更できない場合は、スティックリーダーのデータが空になっていないのが原因です。

スキャン時のカスタムフィールドの使用方法については 4 ページの「スキャン時にカスタムフィールドの情報を追加」を参照してください。

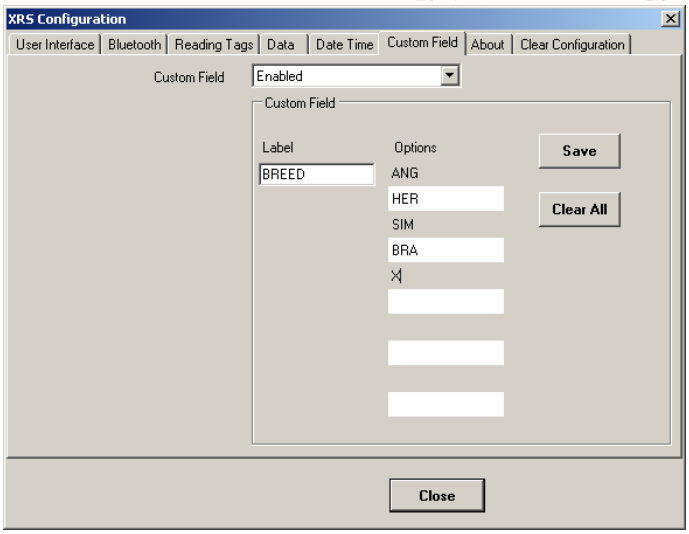
カスタムフィールド使用の参考例

こちらは、スキャン時に家畜の品種を記録する例です。

タイトルには品種を意味する「BREED」を入力(入力は英数字のみ)。

オプションには ANG(アンガス種)、HER(ヘレフォード種)、SIM(ジンメンタール種)、BRA(ブランガス)、X(異種交配) などコード化したものを入力。

カスタムフィールドのタイトルやオプションを設定するには EziLink を使用する。EziLink で設定の画面:



EID タグがスキャンされると、品種のオプションを入力できるようになる。

1 EID タグをスキャン。
2 スクロールボタンを押して、オプションを見る。
3 該当のオプションが表示されたら、そのまま次のスキャンに移る。
次の動作に移ることで、表示されていたオプションの情報が自動的に上書きして保存される。

EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送する

アラートの設定をオンにしておくと、家畜を特定したい場合、該当のタグが読み込まれたときにアラートを受けられます。EID とアラートのメッセージを含むファイルをスキャン前に EziLink を使ってスティックリーダーに転送できます。

アラートは 10,000 まで、メッセージは 254 種類まで利用できます。メッセージは英数字で文字数 32 まで入力できます。アラートファイルは以下のいずれかのフォーマットでなければなりません:

- ファイルは拡張子が.csv もしくは.xls のフォーマットでなければなりません。フィールドが コンマで区切られている限り、拡張子が.txt のファイルも利用できます(拡張子.csv のファイルでは必須)。
- ファイルには 2 列までデータを入力できます。1 列目に EID、2 列目にメッセージを入力(メッセージはオプショナル)。
- EID は 1 列目に、メッセージは 2 列目に入力しなければなりません。
- ファイルにはアルファベットと数字のみを挿入。] ( ) { }, ; ` ~ ^ \ #などは挿入しない。
- EID のフォーマットがスティックリーダー内で設定されるかどうかに関わらず、アラートファイルで使われる EID のフォーマットは前述の 3 つのフォーマットで作成できます。

アラートファイルの例:

	A	B
1	982 000000123456	Withhold
2	982 000000987654	Withhold
3	982 000000123457	Vet

EID とメッセージ

	A	B
1	982 000000123456	Withhold
2	982 000000987654	
3	982 000000123457	Vet

特定された EID の EID 番号とメッセージ

	A
1	982 000000123456
2	982 000000987654
3	982 000000123457

EID のみ

EziLink を使ってアラートファイルをスティックリーダーに転送する方法:

1 をクリック。
「Load EID-Alerts Pairs File(EID-アラートファイルを読み込み)」が表示される。

2 ファイルの隣にあるドロップダウンの矢印をクリックし、すべてのファイルを選択するか、必要ならマイクロソフトのエクセルファイルを選択する。アラートファイルが拡張子.csv の場合は、初期設定をそのまま承認する。

3 アラートファイルのロケーションを探し、選んだらクリック。

4 **Open** をクリック。
情報がスティックリーダーに送信される。

注意:

- スティックリーダー内にすでにアラートのデータがある場合、既存のアラートを消去し新しいアラートを転送するかどうかを問われます。
- メッセージのある EID だけが選択された場合、EziLink はすべての EID を転送するかどうか、もしくはメッセージ付きのものだけを転送するのかを問われます。
- アラートファイルの中でメッセージが使われていない場合でも、該当の EID タグが読み込まれるとアラートを発します。ただし、画面のメッセージ欄は空欄となります。ただし、アラートを認識する操作は必要です。

スキャン時のアラートの使用について詳しい情報は 4 ページの「スキャン時にアラートを受ける 」を参考にしてください。

メッセージなしのアラートの参考例

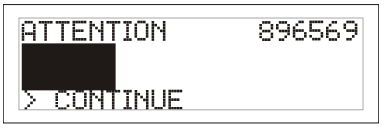
こちらは、特定した数多くの家畜を群れから離すときに使われるアラートの例です。目的がはっきりしているのでメッセージは不要です。

エクセルで表示されるアラートファイルの画面：

	A
1	985 152003896569
2	826 024422013504
3	982 000167397472
4	982 000168838051

EziLink はアラートファイルをスティックリーダーへ転送するときに利用します。

該当の EID にアラートの指示がなされていると、音が鳴り、グリップが振動し、画面にメッセージが表示される。



スクロールボタンを押し「**Continue**」を選び、リードボタンを押す。それにより、アラートが認識されたみなされ、スキャンが続行できるようになる。

メッセージ付きのアラートの参考例

こちらは、保留期間にある家畜や処分する家畜を数頭だけ特定するアラートの例です。対象となる家畜にメッセージ（CULL-処分や W'HOLD-保留期間など）を付ければ、特定に役立ちます。

エクセルで表示されるアラートファイルの画面：

	A	B
1	985 152003896569	CULL
2	826 024422013504	CULL
3	982 000167397472	W'HOLD
4	982 000168838051	W'HOLD

該当の EID にアラートの指示がなされていると、音が鳴り、グリップが振動し、画面にメッセージが表示される。

スクロールボタンを押し「**Continue**」を選び、リードボタンを押す。それにより、アラートが認識されたみなされ、スキャンが続行できるようになる。

EziLink を使ってすべてのセッションを消去する

スティックリーダーが PC につながっていると、EziLink の画面ではスティックリーダーに保存されているスキャンしたセッションのリストが表示されます。

スティックリーダーからすべてのセッションデータを消去する方法：

1 をクリック。
スティックリーダーにあるすべてのセッションデータを消去するかどうか確認のメッセージが表示される。

2 **Continue**（継続）をクリック。
スティックリーダーからセッションデータを消去。確認のメッセージが表示される。

3 **OK** をクリック。

EziLink を使ってすべてのアラートを消去する

EziLink を使ってスティックリーダーからすべてのアラートを消去する方法:

1 をクリック。
スティックリーダーにあるすべてのアラートを消去するかどうか確認のメッセージが表示される。

2 **Yes** をクリック。
スティックリーダーからアラートを消去。確認のメッセージが表示される。

3 **OK** をクリック。

EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去する

EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去する方法:

1 「**File** / **Clear all sessions, VID-EID pairs and alerts in XRS…**」をクリック・
すべてのセッション、VID-EID 一組、アラートのデータを消去するかどうか確認のメッセージが表示される。

2 「**Clear Everything**（すべて消去）」をクリック
スティックリーダーからすべてのデータを消去。確認のメッセージが表示される。

3 **OK** をクリック。

スティックリーダーのファームウェアを更新する

Tru-Test のウェブサイト、www.tru-test.com から時々ファームウェアの更新ができるようになります。EziLink を使用するスティックリーダーへプログラムされるのに必要な拡張子.hex のファイルとして提供されます。

スティックリーダーは XRS シリアルケーブルと USB シリアルアダプタをつないで PC に接続してなければなりません。

EziLink を使ってスティックリーダーのファームウェアを更新する方法:

1 「**Tools** / **Update firmware in XRS**」をクリック。
「Load Firmware File（ファームウェアのファイルを読み込む）」が表示される。

2 ファームウェアのロケーションを探して、選んだらクリック。

3 **Open** をクリック。
1 分以内でファームウェアが更新される。

EziLink を使った XRS の設定

EziLink を使ってスティックリーダーの設定を変更する方法:

1 をクリック。

2 タブのひとつをクリック（User Interface、Bluetooth®、Reading Tags、Data、Date/Time、Custom Field、About、Clear Configuration）。

User Interface（ユーザーインターフェイス）のタブ

このタブではスティックリーダーのユーザーインターフェイスを変更できます。

設定	オプション	説明
Contrast Level （照度）	1 2* 3 4 5	液晶 画面の明暗を明るさに合うよう調整できます。気温の高低によって、異なる設定にすると調整がうまくいくことがあります。この照度はスティックリーダー本体でも変更が可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照してください。
Flip Screen （スクリーンを回転）	Off* On	液晶 画面を左利き用に回転させることができます。オンにすると左利き用に回転します。右利き用には逆さまになります。この設定はスティックリーダー本体でも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」 を参照してください。
Beeper （ビープ音）	Disabled （オフ） Enabled* （オン）	タグが読み込まれる時やキーが押される時にビープ音が鳴ります。ビープ音を消したい場合は、Disabled にしてください。
Vibrator （振動）	Disabled （オフ） Enabled* （オン）	タグが読み込まれる時に振動します。振動の機能を止めたい場合は、Disabled にしてください。
Display Message Duration （メッセージ表示時間）	1 second 2 seconds* 3 seconds 5 seconds 10 seconds 15 seconds 20 seconds 25 seconds	スティックリーダーに表示される「Connected（接続）」などのメッセージは一定の時間だけ表示されます。この表示時間を変更することができます。
Automatic Power Down （自動電源オフ）	Off 1 minute 5 minutes 10 minutes 15 minutes* 30 minutes 45 minutes 1 hour	自動的に電源オフになるまでの時間の長さを変更できます。
Language （言語）	English* Español Português Français Deutsch Italiano Dansk Svenska	ユーザーインターフェイスは英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、デンマーク語、スウェーデン語で表示できます。この設定はスティックリーダーそのものでも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー 」を参照してください。 *注意:*最初に XR3000 に接続すると、スティックリーダーの言語は XR3000 と同じになります。

Bluetooth® のタブ

このタブでは *Bluetooth* の設定を変更できます。

設定	オプション	説明
Clear Paired BT Device List （接続したことのある機器のリストを消去）	N/A	接続したことのある機器のリストを消去するには **Clear Paired BT Device List** をクリックしてください。新しい XR3000 に素早く自動接続できるようになり、間違った機器への接続を防ぎます。
Bluetooth Control （コントロール）	Off Manual Auto*	スティックリーダーのワイヤレス接続の方法を変更できます。この設定はスティックリーダーそのものでも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照してください。 詳しい接続のオプションは 5 ページを参照するか、同梱の CD にある技術仕様書 *「XRS Connections」*を参照するか、ウェブサイト www.tru-test.com を参照してください。
Bluetooth MAC address （MAC アドレス）	N/A（情報のみ）	スティックリーダーの *Bluetooth* ワイヤレス接続モジュール独自のアドレスです。このアドレスは、PC など別の機器によって接続先を探す場合、スティックリーダーの特定に使用されます。

Reading Tags（タグ読み込み）のタブ

このタブではタグを読み込む方法を変更できます。

設定	オプション	説明
Read Mode （リードモード）	STANDARD* （スタンダード） CONTINUOUS （コンティニュアス＝継続） SINGLE （シングル）	STANDARD にセットすると、スティックリーダーはリードボタンが押されるとスキャンを開始します。タグが読み込まれれば瞬時ですが、初期設定では 3 秒間スキャンをします。リードボタンを押し続けるとスキャンは継続し、複数のタグをスキャンします。STANDARD は一般の使用に適しています。 CONTINUOUS（継続）にセットすると、リードボタンが押されるとスキャンを開始し、再びリードボタンが押されるまでストップしません。この設定は囲いにいる家畜や移動させている家畜をスキャンするのに適しています。 シングルにセットすると、スタンダードと同じように機能しますが、リードボタンを押し続けても、1 つのタグを読み込んだ後はスキャンを継続しません。次のタグをスキャンするには、リードボタンを一度放し、再度押さなければなりません。この設定はスティックリーダー本体でも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照してください。
Read Time （リードタイム）	1 second 2 seconds 3 seconds* 5 seconds 10 seconds 15 seconds 20 seconds 25 seconds	リードモードを Standard もしくは Single に設定すると、タグのスキャンにかかる時間を変更できます。
EID Output Format （出力フォーマット）	Standard* No space （スペース無し） Hexadecimal （16 進数）	EID データの保存とスティックリーダーからの出力の方法を変更できます。オプションは Standard（例：982 0000000123456）、スペース無し（例：9820000000123456）、16 進数（例：8000F58000000001）など。
Check for Duplicate （重複のチェック）	Enabled* （オン） Disabled （オフ）	同じセクションで重複する番号の取扱い方法を変更できます。 Duplicates がオンになっていると、そのセッションで記憶された 500 のタグをスキャンごとにチェックします。重複している場合は、画面上に表示され、異なる音の鳴り方がします。重複したタグは保存されません。 Duplicates がオフになっていると、スティックリーダーは重複したタグも保存します。この設定はスティックリーダー本体でも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照してください。

Data（データ）のタブ

このタブではスティックリーダーのデータ管理の方法を変更できます。

設定	オプション	説明
Alerts （アラート）	Disabled* （オフ） Enabled （オン）	スキャン時に特定の家畜のアラートを受けられるようにするには、アラートの設定をオンにしておかなければなりません。4 ページの「スキャン時にアラートを受ける 」を参照してください。 この設定はスティックリーダー本体でも変更可能です。5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照してください。ただし、アラートファイルはエクセルなど違うアプリケーションで作成し、EziLink を使ってスティックリーダーへ転送されなければなりません。10 ページの「 EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送」を参照してください。
New Session on Power Up （スイッチを入れるごとに新しいセッション開始）	Disabled* （オフ） Enabled （オン）	この設定がオンになっていると、スティックリーダーはスイッチがオンになるたびに自動的に新しいセッションを開始します。 *注意:*この機能を使うなら、Auto Power Down の設定を変更してください。

Date Time（日時）のタブ

このタブではスティックリーダーの日時を変更することができます。この設定された日時はスキャンのセッションのときにタグとともに記録されます。PC にセッションデータが転送されると、この日時がファイル内の列に表示されます。初期設定により自動的に付けられるファイル名にもセッションで最初にスキャンした日が含まれます。

設定	オプション	説明
Set Time （時間設定）	N/A	時間の変更方法: 1 時間の項目の横で、変更したい数字を選ぶ。 2 数字を入力するか – もしくは – 3 時間の項目の横にある矢印をクリック。 4 a.m.か p.m.を選ぶ。 5 a か p を入力するか – もしくは – 6 矢印をクリックして a.m. と p.m.を切り替える
Set Date （日付設定）	N/A	日付の設定方法: 1 日付の項目の横で、変更したい数字を選ぶ。 2 数字を入力するか – もしくは – 日付の項目の横にあるドロップダウンの矢印をクリックし、カレンダーを見る。左と右にあるスクロールの矢印を使って、月を変更し、選んだ日付をクリック。 3 **Close** をクリック。

Custom Field（カスタムフィールド）のタブ

このタブではカスタムフィールドを作成できます。9 ページの「EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する」 を参照してください。

設定	オプション	説明
Custom Field （カスタムフィールド）	Disabled （オフ） Enabled* （オン）	スキャン時に各家畜の情報を追加する場合はカスタムフィールドをオンにしなければなりません。4 ページの「スキャン時にカスタムフィールドの情報を追加 」を参照してください。 カスタムフィールドはスティックリーダー本体でもオン/オフにすることができます（5 ページの「スティックリーダーの設定メニュー」を参照）。ただし、カスタムフィールドは EziLink でのみ設定や編集ができます。9 ページの「EziLink を使ってカスタムフィールドを設定する」 を参照してください。

About（アバウト）のタブ

このタブではスティックリーダーのプロパティを見ることができます。トラブルシューティングのときにプロパティが必要になります。

設定	オプション	説明
Firmware Version（ファームウェアバージョン）	N/A（情報のみ）	スティックリーダーで使われてるソフトウェアのバージョン。ファームウェアを更新する場合は、12 ページの「スティックリーダーのファームウェアを更新する」を参照してください。
Serial Number（シリアル番号）	N/A（情報のみ）	スティックリーダーのシリアル番号。
Battery Charge Level（バッテリー充電レベル）	N/A（情報のみ）	スティックリーダーのバッテリー充電レベル。充電レベルはスティックリーダー本体の画面でも見ることができます。3 ページ「液晶画面の表示」を参照ください。

Clear Configuration（コンフィギュレーションをリセット）のタブ

このタブではスティックリーダーの設定を初期設定にリセットできます。リセットしても以前記録された内容やセッションデーターが変更されることはありません。

設定	オプション	説明
Clear All XRS Configurations to their Default Values（すべてのコンフィギュレーションを初期設定に戻す）	N/A	**Clear All XRS Configurations to their Default Values** をクリックして、設定を初期設定にリセットできます。初期設定は、この表で星印で表示されています。

初期設定には *マーク

トラブルシューティング

問題	原因	対策
スティックリーダーの電源が突然切れた	操作しないまま一定時間放置すると、スティックリーダーは自動的にスイッチをオフにします。この動作は初期設定によるものであり、正常です。設定は変更が可能です。	スティックリーダーが自動的にオフになるまでの時間を変更するか、**Automatic Power Down** 機能を無効にします。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」のユーザーインターフェイスのタブ、自動電源オフの機能設定）を参照してください。
	内蔵バッテリーの電力が消耗したため。.	バッテリーを充電してください。2 ページの「内蔵バッテリーの充電」を参照してください。.
スティックリーダーが EID を 1 セッションに 2 回記録しない	この動作は初期設定によるものであり、正常です。	スティックリーダーに EID を 2 回記録させるには、**DUPLICATES** の設定を無効にします。4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
スキャン時にスティックリーダーの画面にフラッグが表示され、セッションファイルに不必要なカスタムフィールドの情報が入ってしまった	**CUSTOM FIELD** の設定が **ON** になっています。前回の使用時にカスタムフィールドの情報を追加するよう設定されており、その後この機能を無効にしていなかったためです。	スティックリーダーの設定変更で **CUSTOM FIELD** 機能を無効にします。4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。.
特定の ID の家畜をスキャンした時に、スティックリーダーから音が鳴り、グリップが振動し、画面にメッセージが表示される	**ALERTS** の設定が **ON** になっています。前回の使用時にアラートが設定されており、その後この機能を無効にしていなかったためです。	スティックリーダーの設定変更で **ALERTS** 機能を無効にします。4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
スティックリーダーが EID タグの記録を特定のフォーマットで行うが、フォーマットが不適切	スティックリーダーが EID タグを記録する際のフォーマットは、標準（例：982 000000012345）、スペースなし（例 L9820000000123456）、16 進法（例：8000F58000000001）のいずれかになります。	**EID Output Format** の設定を変更します。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」タグ読み込みタブ、EID 出力フォーマット設定）を参照してください。
EID がエクセル上で異なる番号で表示される（例：982000000123456 が 9.82E+14 として表示される）	EziLink によるセッションのインポートが NLIS もしくは.csv フォーマットで行われるよう設定されているため、エクセルでファイルを開いたときに EID 情報が正確に表示されなくなっています。	ファイル形式を .xls に変更します。8 ページの「EziLink を使ってファイルフォーマットを変更する」を参照してください。もしくは、EID 出力フォーマットにスペースを含むよう変更します。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」タグ読み込みタブ、EID 出力フォーマット設定）を参照してください。
スティックリーダーのスイッチをオンにするたびに新しいセッションが開始される	**New Session On Power Up** の設定が **On** になっています。	**New Session On Power Up** 機能を無効にします。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」データタブ、電源オンとともに新セッション開始の設定）を参照してください。手動で新しいセッションを開始する場合は、スティックリーダーの設定変更で **START NEW SESSION** を選択してください（4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください）。

スティックリーダーがほんの短時間しか EID タグのスキャンをしない	**Read Mode** の設定が **Standard** もしくは **Single** になっていて、スティックリーダーには EID タグのスキャンに時間制限が設定されています。	スキャンの時間制限を変更します。もしくは、連続スキャンができるよう **Read Mode** を変更し、スティックリーダーによる EID スキャンの方式を変えます。 スティックリーダーによる EID スキャンの時間制限を変更するには、13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」タグ読み込みタブ、読み込み時間の設定）を参照してください。 スティックリーダーによる EID スキャンの方式を変えるには、**Read Mode** の設定を **Continuous** にします。連続スキャンモードでは、スティックリーダーはリードボタンを押すとスキャンを開始し、リードボタンを再度押すとスキャンを終了します。この設定は囲いや通路にいる家畜を一通りスキャンしたい時に適しています。 Read Mode の設定を変えるには、4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
リードボタンを押すまで、スティックリーダーが各タグのスキャンを続行する	**Read Mode** の設定が **Continuous** になっています。	スティックリーダーによる EID スキャンの方式を変えるには、**Read Mode** の設定を **Standard** もしくは **Single** にします。 標準モードでは、スティックリーダーはリードボタンを押すとスキャンを開始します。Read Time で設定された時間内（初期設定で 3 秒間）は読み込み時間スキャンは続行されます。制限時間内にタグが読み込まれた場合はその時点でスキャンが終了します。リードボタンを押し下げたままにするとスティックリーダーはスキャンを続行するので、複数のタグを連続でスキャンすることができます。一般的な使用には、「標準」設定が適しています。 シングルモードでは、ボタンを押し下げたままにしてもスティックリーダーはスキャンを続行せず、最初のタグのみ読み込みます。それ以外の動作は標準モードと同じです。次のタグをスキャンするには、リードボタンから一旦手を離し、もう一度リードボタンを押します。 Read Mode の設定を変えるには、4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
リードボタンを押し下げたままスキャンを続けようとしても、スティックリーダーが最初のタグ 1 つ分しかスキャンしない	**Read Mode** の設定が **Single** になっています。	シングルモードでは、スティックリーダーは最初にスキャンされたタグのみを読み込みます。ボタンを押し下げたままにしてもスティックリーダーはスキャンを続行しません。次のタグをスキャンするには、リードボタンから一旦手を離し、もう一度リードボタンを押します。 スティックリーダーによる EID スキャンの方式を変えるには、**Read Mode** の設定を **Standard** もしくは **Continuous** にします。 標準モードでは、スティックリーダーはリードボタンを押すとスキャンを開始します。Read Time で設定された時間内（初期設定で 3 秒間）は読み込み時間スキャンは続行されます。制限時間内にタグが読み込まれた場合はその時点でスキャンが終了します。リードボタンを押し下げたままにするとスティックリーダーはスキャンを続行します。 連続スキャンモードでは、スティックリーダーはリードボタンを押すとスキャンを開始し、リードボタンを再度押すとスキャンを終了します。 Read Mode の設定を変えるには、4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
タグをスキャンした時やスティックリーダーのスイッチをオンにした時に音が鳴らない	**Beeper** の設定が無効になっています。	**Beeper** の設定を有効にします。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」、画面タブ、Beeper 設定）を参照してください。
スキャン時などにスティックリーダーが振動しない	**Vibrator** の設定が無効になっています。	**Vibrator** の設定を有効にします。13 ページの「EziLink を使った XRS の設定」、画面タブ、Vibrator 設定）を参照してください。
スティックリーダーが測定器に接続できない	接続方式（シリアルケーブルかワイヤレス *Bluetooth* か）により異なります。	技術仕様書の *"XRS Connections"* を参照してください。スティックリーダーと同梱の CD もしくは www.tru-test.com にてご覧いただけます。

スティックリーダーが PC（パソコン）に接続できない。	接続方式（シリアルケーブルかワイヤレス *Bluetooth* か）により異なります。	技術仕様書の *"XRS Connections"* を参照してください。スティックリーダーと同梱の CD もしくは www.tru-test.com にてご覧いただけます。
EziLink がスティックリーダーを認識しない	EziLink を起動する前に、スティックリーダーを PC に接続し、スティックリーダーのスイッチをオンにしておかなければなりません。	1 スティックリーダーが PC に適切に接続されているか確認します（2 ページの「EziLink の使用」を参照してください）。 2 スティックリーダーのスイッチをオンにします。 3 EziLink を起動します。
スティックリーダーと測定器のワイヤレス接続（*Bluetooth*）がすぐに切れてしまう	信号強度が弱いか、接続状態が良くない可能性があります。	技術仕様書の *"XRS Connections"* を参照してください。スティックリーダーと同梱の CD もしくは www.tru-test.com にてご覧いただけます。
読み込み範囲や反応性が悪くなった	付近で別の EID リーダー（特にパネルリーダー）が使用されている可能性があります。 PC のモニターのような電子機器や変速駆動（搾乳施設内など）が干渉し障害が生じていることも考えられます。	他の EID リーダーや電子機器の電源を切るか、他の機器や設備に干渉されない場所に移動してスティックリーダーを使用してください。
液晶画面がよく見えない	極度の温度変化によりこのような状態になる場合があります。	スティックリーダーの設定変更で **CONTRAST** を調整します。4 ページの「スティックリーダーの設定を変更」を参照してください。
充電してもバッテリーがすぐ空になる	気温が 5°C を切るか 40°C を上回る場合、通常通り充電が行われているように見えても、実際には充電の効率が悪くなっています。	バッテリーの充電は必ず 5°C～40°C の環境で行ってください。
	バッテリーの充電状態は、充電を終えてから 5 分経たないと正確に表示されません。	充電後 5 分待って充電状態を再確認してください。
	環境温度やバッテリーの状態にもよりますが、リチウムイオン電池は経年劣化により充電容量が徐々に低下していくので、いずれは交換が必要になります。	充電要領の低下を最小限にとどめるため、スティックリーダーはバッテリーが半分充電された状態で涼しい場所に保管することをおすすめします。バッテリーの充電は使用後より使用前のほうが有効です。 必要に応じてバッテリーを交換してください。(Tru-Test パーツ番号 813295)
タグの読み込みができない	読み込み範囲に EID タグが 2 つ以上あるため。	読み込み範囲内に複数のタグが混在しないよう、スキャン時のスティックリーダーの位置や作業環境を調整します。
	EID タグが ISO11784/ISO11785 対応の HDX/FDX ではないため。	EID タグの取扱い業者に問い合わせてください。
	EID タグに不具合があるか、プログラムが設定されていないため。	
スティックリーダーに相互参照ファイルを転送したのに、VIDsが表示されない	相互参照ファイルの形式が適合していないと考えられます。	相互参照ファイルの形式に間違いがないか確認してください。7 ページの「EziLink を使って相互参照用のファイルをスティックリーダーに転送」 を参照してください。
スティックリーダーにアラートファイルを転送したのにアラートが動作しない	アラートファイルの形式が適合していないと考えられます。	アラートファイルの形式に間違いがないか確認してください。10 ページの「EziLink を使ってスティックリーダーにアラートファイルを転送」を参照してください。
スキャン記録が上書きされる	スティックリーダーのメモリに空き容量がなくなったためです。	スティックリーダーのメモリ（スキャン 20,000 件まで）に空き容量がなくなったら、スティックリーダーは古い記録のある部分から上書きしていきます。 EziLink を使って、セッションのデータを PC に転送してください。8 ページの EziLink を参照してください。その後、不要になったセッションのデータをスティックリーダーから消去します。11 ページ「EziLink を使ってすべてのセッションを消去する」使ってすべてのセッションを消去する」参照してください。

本器の取扱いについて

ぬるま湯と石鹸で湿めらせた布で拭いてください。洗剤等はケースを損傷することがあるので使用しないでください。
本器を水の中に置いたままにしないでください。涼しく乾いた場所に保管してください。
スティックリーダーにケーブルを接続していない時は、ダストキャップをかぶせ、埃や湿気が入らないようにしてください。

サービスと保証内容

サービスと保証内容についてはウェブサイト www.tru-test.com を参照してください。

仕様

サイズ	651 x 65 x 51 mm (L x H x W)
重量	バッテリーを含み 706 g
通信環境	*Bluetooth*®クラス 1 ワイヤレス接続, 100 m まで RS232 9600-115200 bps, Xon/Xoff
動作中の気温環境	-10 から +50 °C
保管中の気温環境	-20 から +35 °C
バッテリー充電温度	+5 から +40 °C
読み取り可能範囲	HDX 330 mm まで、FDX 350 mm まで
読み取り速度	1 分につき 1000 まで
タグの互換性	ISO HDX と ISO FDX-B を読み取り
保護特性（防浸）	IP67（1m で 30 分の浸水に耐える）
バッテリー動作可能時間	19 時間、リードボタンモードがスタンダードの場合 9.5 時間、リードボタンモードがコンティニアス（連続）の場合
バッテリー	7.4 V, 1500 mAh リチウムイオン
充電所要時間	3 時間
ソフトウェア	Tru-Test EziLink™
サイズ	651 x 65 x 51 mm (L x H x W)
重量	バッテリーを含み 706 g

Index

EID タグをスキャン, 3

EziLink の設定メニュー一覧, 13

EziLink を使ってアラートファイルをスティックリーダーへ転送, 10

EziLink を使ってカスタムフィールドを設定, 9

EziLink を使ってスティックリーダーからひとつもしくはそれ以上のスキャンしたセッションを転送, 8

EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートを消去, 12

EziLink を使ってすべてのセッションを消去, 11, 12

EziLink を使ってフォーマットを変更, 8

EziLink を使って変更, 13

EziLink を使って相互参照用ファイルをスティックリーダーへ転送, 7

EziLink を使って設定, 9

LED, 3

NLIS, 8

インストール, 2

サービス, 20

スイッチをオフにする, 3

スイッチをオンにする, 3

スキャン, 3

スキャン時にアラートを受ける, 4

スキャン時にカスタムフィールドの情報を追加, 4

スキャン時に情報を追加, 4

スティックリーダーから転送, 8

スティックリーダーのデータを削除。. 「EziLink を使ってすべてのセッション、VID-EID 一組、アラートを消去」を参照

スティックリーダーのファームウェアを更新, 12

スティックリーダーの設定メニュー, 5

スティックリーダーの設定メニュー一覧, 5

スティックリーダーへ転送, 10

スティックリーダー本体で変更, 4

その他充電の方法, 6

トラブルシューティング, 17

バッテリーの交換, 7

メッセージなしのアラート参考例, 11

メッセージ付きアラートの参考例, 11

交換, 7

仕様, 20

使用, 13

保証内容, 20

充電, 2

参考例, 9

各部名称, 3

変更, 8

更新, 12

消去, 11, 12

液晶画面の表示, 3

相互参照用ファイルをスティックリーダーへ転送, 7

設定, 10